*情報公開文書　（単施設用）*

研究機関名：旭川医科大学

| | |
|---|---|
| 承認番号 | 23011 |
| 課題名 | FDG PET 検査での腎集積と腎機能との関連の検討 |
| 研究期間 | 実施許可日　～　2028 年 3 月 31 日 |
| 研究の対象 | 2000 年 4 月～2027 年 12 月に当院にて FDG/PET 検査および腎動態シンチグラフィ検査，血液検査を受けられた方 |
| 利用する試料・情報の種類 | ■診療情報（詳細：PET および腎動態シンチグラフィ(検査結果の他、撮像機器名、コリメータ、マトリクスサイズ、投与量、待機時間、走査時間、画像に影響を与えると考えられる情報)、採血結果、年齢、身長、体重、全身状態・治療内容等画像に影響を与えると考えられる情報，検査履歴や治療経過等の臨床情報等　）<br>□手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　）<br>□血液<br>□その他（　　） |
| 試料・情報の管理について責任を有する者 | 旭川医科大学　学長　西川　祐司 |
| 研究の意義、目的 | 本研究は、18F-フルオロデオキシグルコース PET 検査（以下、PET）における腎臓の集積と腎機能の関連を明らかにすることが目的です。PET は、癌治療前の精査や治療効果判定を目的として行われることが多い検査ですが，腎臓の集積に個人差や左右差が見られることがあります。これらの所見の病的意義については不明な点が多くあります。これまでは腎動態/静態シンチグラフィが画像的に行える腎機能評価の主流でしたが，上記の集積変化と腎機能との関連を明らかにすることによって、追加検査を行わずに簡易的に腎機能を推定できる可能性があります. これにより治療方針決定などに付加的な情報を提供できると期待しています。今回は、その臨床的有用性を評価することを目的としています。 |
| 研究の方法 | 当研究機関で実施された PET の画像データと，腎動態シンチグラフィで得られた腎機能や採血結果を収集します。その結果から従来の腎機能評価指標と腎臓の FDG 集積の関連性を精査し，臨床的な有用性を評価します. |
| その他 | 本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 |

| | |
|---|---|
| | 　また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。<br><br>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先および研究責任者：<br>〒078-8510　北海道旭川市緑が丘東２条１丁目１番１号<br>TEL：0166-65-2111（代表）<br>国立大学法人　旭川医科大学　医学部　放射線医学講座　助教　野村 優里菜 |